

風立ちぬ

第24号 令和6年3月1日(金)発行

文責 佐藤正人



=たちかわ夢サポート塾 閉塾=



昨年9月9日(土)にスタートした、「令和5年度 たちかわ夢サポート塾」も2月17日(土)をもって、20回におよぶ今年度の講座を終了しました。今年度で10回目を数えるこの講座は、庄内町の地域学校協働活動推進事業として行われていますが、

【塾長】太田英一 先生 【コーディネーター】太田ひろみ 先生

【数学】堀江 信 先生・保科 元 先生

【理科】渡部登美雄 先生 【社会】菅原弘昭 先生 【英語】佐々木 卓 先生



のお力を借りて、志望校合格を目指しています。

受講した生徒の感想の一部を紹介します『テストをしているとき、塾で出た問題が出たり、似た問題が出て解けて合っていたときに「あ、ちゃんと伸びてる」と実感した。』『勉強法や合格に近づく考え方を教えていただけてよかったなと思います。また、今まで聞いたことのない話をして下さり今までより理解が深まったのではないかと思います。』『先生方が熱意を持って私たち生徒に教えてくださったことがとてもうれしかったです。数学では関数と図形の問題で答えられるようになりました。英語の授業では、親身になって一緒に問題を解いてくださったので、作文の書き方や長文の解き方がよくわかるようになり助かりました。』『夢サボがあったおかげで土曜日の朝からちゃんと起きて生活することができた。友達と一緒に勉強したおかげで分からないところを教えたり教えてもらったりすることができた。』

閉塾式では、塾長による合格の舞いとエール、教育委員会からは励ましの合格鉛筆が受講生一人ひとりに渡されました。



=合格宣言=

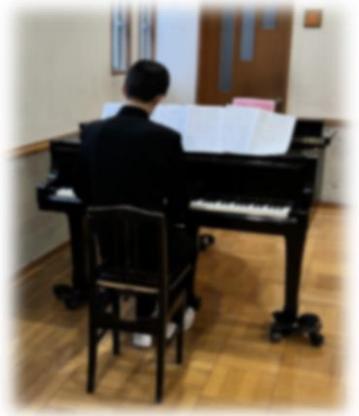
- 1 おまえを試験に送る前に、言っておきたいことがある。
かなり厳しい話もするが、俺の本音を聞いておけ
夜遅くまで起きていてはいけない、朝も遅くまで寝ていてはいけない
文字はうまく書け、きれいななりでいる、先生の言う範囲で構わないから
忘れてくれるな、受験票・上履き、腹が減っては試験ができないってことを
おまえにはどうしてもできない問題もあるから
それ以外は間違いなく、きちんとしっかり書いてこい。

- 2 公立校と私立校と、どちらも同じだ、大切にしろ。
面接試験、賢くこなせ、たやすいはずだ、笑顔が全て。
試験の出来不出来、言うな聞くな、それからつまらぬ不安は持つな
おまえは受かる、たぶん受かると思う、受かるんじゃないかな、
まあ、ちょっと覚悟はしておけ
合格はみんなで祝いあうもので、自分一人で喜び、浮かれるものではないはず
おまえは、三年間『立中』で勉強してきたのだから、心配は無いと思え
必ず受かると思って受けてこい。
- 3 合格証をついに手にしたら、一人だけで喜んではいけない
例えばわずか、一言でもいい、先生方にありがとうをいえ
何もいらない、俺の手を握り、涙の雫、二つ以上こぼせ
おまえのがんばりで、いい結果だったと、俺が言うから必ず言うから。
忘れてくれるな、おまえの後ろ盾には、先生・親たち・友達がついている。
忘れてくれるな、おまえの後ろ盾には、先生・親たち・友達がついてる。

※ さだまさし氏の「関白宣言」の替え歌

= 「利己の心」と「利他の心」 =

私たちの心には「自分だけがよければいい」と考える『利己の心』と、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」とする『利他の心』があります。『利己の心』で判断すると、心が自分にしか向いていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまうことが多くなります。一方、『利他の心』で判断すると心が他に向けられていますから、視野も広くなり、まわりの人みんなが協力してくれます。また正しい判断ができることが増えます。より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりに満ちた『利他の心』に立って判断をすると、巡りめぐって自分の「利」となります。



自分の時間をみんなのためにと朝から練習している姿が見られます。ありがとう。

= 始業と終業の挨拶 =

挨拶は本来、目の前にいる人に行うものと考えがちですが、それ以上にもっと深い意味が込められた挨拶もあります。その一つが、学校授業の始業と終業時に交わす挨拶です。

私が小学生の時、齋藤与一先生という理科の先生がいました。（教務主任だったのででしょうか。クラスは持たず、理科だけを教えて下さいました。）先生は、「私たちは、今、お互いに、挨拶をしましたが、その意味は何でしょう」と尋ねました。誰も言葉にして答えることはしませんでした。みんなは、目の前の先生に挨拶をし、先生はそれに応えてくれたのだと心で思っていました。すると、先生は、「人間の一番弱いところは脳天です。日本の武道は、挨拶に始まり挨拶に終わります。つまり自分の弱いところを相手に見せると言うことは、お互い尊敬（リスペクト：当時はこのような言葉は流行っていませんでした）しているという意識の表れです。授業での挨拶も同じで、先生と皆さんが一緒にの学びを通して課題を解決していきましょう。敵ではありません。宜しく御願います。という心の表れなのです。」と話して下さいました。教員になってから、先輩にこの話をしたところ、「教科書に載っていることは、先人の努力によって成し遂げられた成果なので、ここにはないが、その先人に対しても授業の初めと終わりに敬意を示すために礼をするのだ、と説く先生もいたよ」と教えて下さいました。

最近、教室を回ると始業・終業の礼をせず着席するアメリカンタイプの生徒が見られます。思春期まだ中ですが、日本人としての心を忘れず、先生と一緒に授業を進めて欲しいと思います。



= 第1学年 職業調べ発表会 =

2月22日（木）6校時、総合の時間を活用して調べた職業についてスライドにまとめ、全員が発表しました。

「働く」って、どんな苦労があるの？よここびがあるの？一人ひとり一生懸命に考えました。

自分の能力を生かし「働く」事を通し、充実した人生を送ることができるように準備していきたいものです。

社会はどのような人、力を必要としているのでしょうか？「コミュニケーション能力」「クレーム処理」「編集技術」

「集団行動」「常識」「ルールを守る」「資格」などなどキーワードがたくさん紹介されていました。今の自分と照らし

合わせ欠けている点は、これからの学校生活で身に付けていくこと。その為に何をすべきかは生徒自身が考えて積み上げます。ご家族の皆様からのアドバイスも宜しくお願いいたします。

= 今月のスナップショット =



「大勢の前で、自分の考えを発表できました」



<https://www.town.shonai.lg.jp/tachichu/>
立川中学校ホームページ

